

日本共産党 森川 ヤスエ 議員



- 1 国保税値上の回避を求める
 - (1) 市民の生活実態と市民の命の重みについて市長の認識を問う。
- 2 生活保護不正事件について
 - (1) 国への返還金の対応について
 - (2) 市として全体の問題整理の仕方について

質問1(1) 鈴鹿市の国保加入世帯の所得状況は昨年よりも悪くなっている認識はあるか。

答弁1(1) 市民の所得が減少していることは認識している。

質問1(2) 国保の赤字は、国負



国民健康保険窓口

担が45%から25%へ減少による。収納率15%分または子どもの保険税分などを一般会計から繰り入れて、当面不況下の保険税の値上は回避することを求める。

答弁1(2) あくまでも受益者負担という考えから繰り入れを行わず制度の中で運営していく。

質問2(1) 1人に月100万円の交通費を払うことの異常さは、単なるミスといえない。責任の所在を明らかにし応分の負担を求めるべきと思うがどうか。

答弁2(1) 単なるミスではないと認識している。

質問2(2) 内部調査を行い、問題がなぜ起きたのか、組織風土はいつ頃からどうして醸成されたかなど特別調査チームを作って、報告書をまとめ市民に報告をすべきと思うがどうか。

答弁2(2) 懲戒審査結果も含めて総括して報告させていただく。

日本共産党 石田 秀三 議員



- 1 予算編成の市民への公開について
- 2 国道306号バイパス事業について

質問1 市の予算編成の内容が、現在はオープンにされていない。一部職員だけが情報を独占している状態である。予算原案から最終案までの各段階の過程を、分かりやすく市民に公開することを求める。

答弁1 予算編成の公開は、全国的にも多くの自治体で行なわれつつある。本市としても、先進自治体の事例を調査し、研究していきたい。

質問2 国道306号の伊船バイパス事業のうち、南半分の第1期工事

が、やっと本年3月で完成供用開始となる。しかし、現道からバイパスへのルートがクランクになることから、集落内の現道を通行する車がどれほどバイパスに回っていくか疑問である。このような懸念を解決するために、北半分の第2期工事を、間をおかずに着手し、早期全線開通をはかられたい。

答弁2 事業主体の三重県では、第2期工事を22年着工に向けて準備しているとのことである。市としても、本バイパスの重要性を認識し、早期完成に向けて地元調整などに協力していきたい。



国道306号線(右側)

公明党 池上 茂樹 議員



- 1 排水対策について
- 2 県道上野鈴鹿線の整備について

質問1(1) 近年、集中豪雨や大雨が多発しており、稲生町西地区においても浸水被害が起こっている。浸水対策として稲生新川の早期改良工事が重要だが、進捗状況は。

答弁1(1) 全体計画区間1,260メートルの内、940メートルを早期完成に向けて事業を進めている。

質問1(2) 稲生新川と合流する花咲川までの用地取得の状況は。



稲生地区視察

答弁1(2) 花咲川合流地点までの用地取得は、平成20年度ですべて完了している。稲生新川の早期完成に向け努めたい。

質問1(3) 宅地造成が進み保水力の低下が問題になっている。稲生ミュージックガーデン西を流れる水路が溢れ、地域周辺で冠水被害が起きている。そこで排水対策はどのような計画があるのか。

答弁1(3) 稲生新川の改修の進捗を見極めながら、順次、排水能力を増強できるよう浸水対策計画の策定をする。

質問2 野町保育園東からF1マート間の路面に亀裂、わだちや舗装のはがれ等とひどい状態である。わだちにできた水溜りを車をはね上げ、小学生が水をかぶり困っている。安全対策を市として三重県に道路補修や整備の要望をしているのか。

答弁2 今回の指摘で三重県建設事務所にも県道上野鈴鹿線の道路整備は要望していく。

政友会 今井 俊郎 議員



- 1 学校選択制について
- 2 自治会について
 - (1) 事務委託見直しについて
 - (2) 自治会長の負担軽減について

質問1 鈴鹿市の小中学校では学校評価で自己評価と外部評価を実施しており、評価はするが、特色ある学校経営を進めるため学校選択制を取り入れ中学校への通学指定校以外への通学を進めては。

答弁1 中学校での空き教室の余裕はなく今後も生徒数はこのまま推移すると予想される。学校選択制の状況は難しく就学指定校の変更制度により子供や保護者の実状に即して就学の配慮を行いたい。

質問2(1) 自治会への、回覧や全戸配布物の仕分作業、現場立会などの市委託業務の負担が多い。見直しはどうか。

答弁2(1) 良好な自治会活動を行っていただくことが、住民福祉の向上につながるものと考えており、委託している業務の内容を関係各課と協議し、調整していきたい。

質問2(2) 最近新しい自治会長のなり手がなくて困っている自治会の話をよく聞くと、自治会長になることによる不安を解消するため自治会委託業務標準マニュアルを作成して円滑に自治会長の引き継ぎが出来るようにしてはどうか。

答弁2(2) 自治会長の負担が大きいため、自治会長のなり手がないとの声があることは聞いている。また、一方で、自治会長の業務の負担を軽減するため役員を中心に各自治会員が協力して業務を分担しているところも数多くあると伺っている。全ての業務をマニュアル化することは出来ないが鈴鹿市自治会連合会と協議しながら、マニュアル化について検討していきたい。